

# 居住環境を記述する

## ー建築史・建築環境からみた居住環境を通して比較居住文化を考えるー

主 催：建築計画委員会，住宅計画運営委員会，比較居住文化小委員会

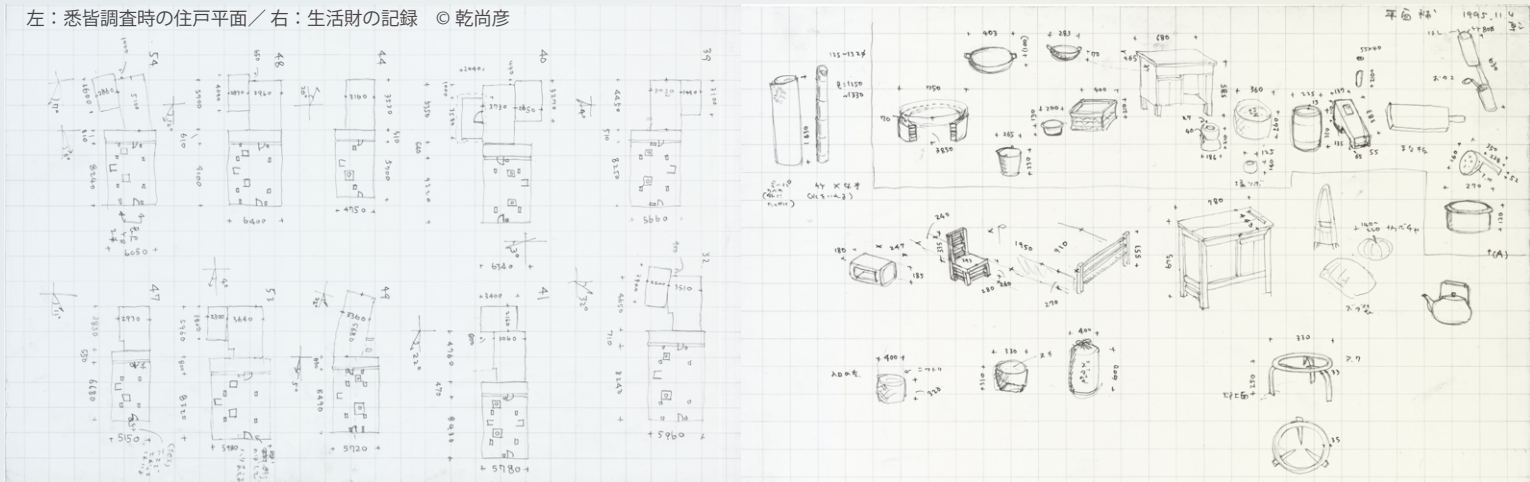
居住文化の理解において、居住環境の物理的な構成や要素の記述は、重要な実践であり、記述を通して、文化の理解や計画への応用が試みられてきた。では、物理的な居住環境は具体的にどのように記述されてきたのだろうか。その記述は、手作業による実測や体系的な測量、上空からの記録、微気候の測定、それらの時間的な変化など多岐にわたり、さらには近年の測定技術の発展による精度の向上も考えられる。一方、参与観察を通して観察者の立場・文化的背景から逃れることが難しいのと同様に、居住環境の記述においてその記述方法や理論的枠組による制限から自由になることはできない。すなわち、様々な記述方法による結果の理論負荷性を意識した上での実践が求められるといえよう。

研究会では、居住環境の記述に最新の方法を導入している建築史、建築環境の研究者を招き、その実践における意義と課題を報告いただく。さらに、人や生活を対象とした比較居住文化研究の研究法を通覧し双方を相対化した上で、形式的・非形式的な区分を乗り越えた、より良い居住環境の理解へ向けた実践方法の展望について議論する。



写真測量の準備 © 藤田康仁

左：悉皆調査時の住戸平面／右：生活財の記録 © 乾尚彦



日時：2016年12月3日(土) 15:00~18:00

会場：建築会館会議室 (港区芝 5-26-20)

### <プログラム>

趣旨説明：那須聖 (小委員会委員・東京工業大学)

主題解説：

1. 「熱環境の視点から居住環境を記述する」  
中大窪千晶 (佐賀大学)
2. 「歴史研究にまつわる建築の記述形式」  
藤田康仁 (東京工業大学)

討 論：コメンテーター：乾尚彦 (学習院女子大学)

まとめ：前田昌弘 (小委員会主査・京都大学)

司 会：栗原伸治 (小委員会幹事・日本大学)

那須聖 (前掲・記録兼)

参加費 (資料代含む/当日会場払い)：

会員 1,000 円 / 会員外 2,000 円 / 学生 500 円

定員：30 名 (申込み先着順)

申込方法 (Web 申し込み)：

<https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1654>

申込問合せ：

日本建築学会事務局 事業グループ 榎本

TEL：03-3456-2051

E-mail：enomoto@aij.or.jp

居住環境の数値解析 © 中大窪千晶

